

子どもミーティングの
「まちづくりの提言」に対する処理方針

令和元年度
鹿児島市 市民協働課

「子どもミーティング」の提言に対する対応状況一覧

令和元年度 子どもミーティング

番号	提言内容	関係部局	市長回答
<多言語対応>			
1	<p><u>様々な施設において、館内アナウンスを多言語化すること、観光客の目に付きやすいところに多言語による表示を行う。</u> ⇒アナウンスを多言語化することで店を訪れる外国人もその店で行っているサービスを知ることができ、市内に住む外国人や、鹿児島を訪れるリピーターも増えることに繋がると思う。</p>	企画財政局 観光交流局	<p>【番号1～4の提言内容について】 鹿児島市は国際観光都市として、様々な方々が鹿児島市にお越しになってくれています。それらの多くの方々に訪れてもらうためにも、言葉の壁を無くすのが重要だと考えております。多言語における対応が重要であり、鹿児島市は、英語、中国語、韓国語、それに日本語を合わせた4か国語を市電・市バス、他様々な施設で対応しているところではありますが、みなさんからまだまだ足りないというご指摘がありました。その中で、やはりこれからも関係のみなさまにもご協力をいただきながら進めていきたいと考えておりますので、機会を捉えて関係団体のみなさんにもご意見も伝えていきたいと思っております。</p>
2	<p><u>様々な施設での資料説明等に多言語対応の音声ガイドを取り入れる。</u> ⇒外国人の方は観光・生活面において言葉が分からないことで居心地の悪さや孤独感等のストレスを感じると思う。音声ガイドを導入することで、外国人にとって不自由のない環境にすることで鹿児島にまた来たいと感じてもらい、観光客が増えて街の活性化にも繋がると思う。</p>	企画財政局 観光交流局	
3	<p><u>日本語のアナウンスを多言語に翻訳できるアプリを作る。</u></p>	総務局 観光交流局	
4	<p><u>まちなかにある看板について、外国語表記を増やしたり写真や絵を取り入れたりして誰が見ても分かるように工夫する。</u> ⇒看板の表記が日本語しかなかったり、日本独特の地図記号も意味が分からないということも知ったので、それらを誰でもわかるように改善して、外国人にも観光客にも優しい鹿児島をつくってほしい。誰が見ても視覚的にわかるということはとても重要だと思う。</p>	観光交流局 建設局	

「子どもミーティング」の提言に対する対応状況一覧

令和元年度 子どもミーティング

番号	提言内容	関係部局	市長回答
<多文化共生>			
5	<p>様々な国の文化の違いを理解できるようなイベントに鹿児島市には積極的に支援する。</p> <p>⇒文化の違いを解消するために、中高生・大学生や、JICAの方、鹿児島在住の外国人の方にスタッフになってもらい、イベントを開催したい。鹿児島市には後援をお願いしたい。鹿児島を知って文化に触れたいという外国人の想いと、鹿児島の良さを伝え外国人と仲良くなりたいという鹿児島人の想いがリンクすれば共生に繋がると思う。</p>	総務局	<p>【番号5～7の提言内容について】</p> <p>現在、外国の方々にとってより住みやすいまちになるように鹿児島市においても様々な取り組みを進めています。これまでは国際交流財団による「新入在住外国人の歓迎交流会」や鹿児島市のご家庭との交流を図る「留学生ホームビジット」等を行ってきております。</p> <p>また、来年の4月には旧市立病院の跡地に市と県と共同で国際交流施設の設置をします。この中で、多くの外国人の方々に参加をしてもらい、また鹿児島にいる高校生、中学生、大学生など多くの方々交流してもらいたく、1・2階を交流スペースとして開放するようしておりますので、是非、今回みなさんがイベントを通して知り合った外国の方々にもご案内をしていただければと思います。また、3階以上は宿泊施設になっておりますので、外国の方々が宿泊をされたときに、機会があれば1・2階を使っただき、多くの鹿児島の方々交流をし、そして、色々な言葉の壁や環境の壁を取り払っていただければと思います。</p>
6	<p>参加費がかからず気軽に足を運べるような、在住外国人同士が交流するコミュニティの場を作る。</p> <p>⇒留学生が異国の地で生活する中で言葉も通じず一人で何もかも抱え込んでしまう現状を知って、楽しく日本生活を送ってほしいと思った。気軽に足を運べるようなコミュニティの場があれば日常の近況報告や、悩みを話したり世間話・情報交換をすることができると思う。そうすると心が軽くなって日本生活が快適でもっと楽しくなると思う。</p>	総務局	
7	<p>鹿児島に住んでいる外国人が、地域の子どもから高齢者まで幅広い年齢層の人々と触れ合える場を増やす。</p> <p>⇒もっと交流・触れ合いの出来る場を作る必要があると思う。そのような場を設けることで①外国人・鹿児島人がお互いをもっと知る事が出来る②鹿児島の暮らしを知ってもらえる③小学校やあいご会で開催することで、今、外国人にあまり興味がない方にも興味をもってもらえるようになる。</p>	総務局	

「子どもミーティング」の提言に対する対応状況一覧

令和元年度 子どもミーティング

番号	提言内容	関係部局	市長回答
<その他>			
8	<p><u>市電等の便数を増やす。</u> ⇒市電等の便が少なく、外国人は日本の車の免許を持っていないので不便。交通の便が多いと鹿児島に住む人皆が落ち着いて移動でき、トラブルに巻き込まれることが減ると思う。</p>	交通局	<p>【番号8～11の提言内容について】 市電等に関して、利用状況や安全面を考慮した取り組みをしておりますが、増便というのは経営上難しいのではないかと考えております。また、市電の中でも多言語の案内をしております。 アルバイトの時給の見直しをしてはどうかとの提言もいただきました。労働問題について、これからも国全体で考えていかなければいけない問題であります。今、少子高齢化で日本の人口もどんどん減っていく中で、労働力の不足が懸念されています。それを解決するためには、外国人の方々にも手伝ってもらわないといけないと思いますので、外国人の方々暮らしやすい生活環境を作るためにも時給や働く環境問題など様々な課題があり、それらもしっかりと多くの皆様のお知恵を貸していただきながら課題解決に取り組んでいきたいと思っております。 また、ごみのマナー等についてもお話がありました。鹿児島市のごみの分別はしっかりとしております。鹿児島県内の市町村でもごみの分別は様々であり、それらのことについてもそれぞれの地域に住んでおられる外国人の方々理解しやすいように、またしっかりとマナーを守れるように行政として皆様方にしっかりと広報をしていきたいと思っております。「YASSEN」というタイトルの広報誌は、大変面白く、分かりやすく魅力的だなと思えました。またそういうのを取り入れるかどうか、これから検討していきたいと思っております。</p>
9	<p><u>まちなかにゴミ箱の設置を増やしてゴミの分別方法を写真で示す。</u> ⇒外国人にもわかるように多言語表示をしたゴミ箱の設置を増やし分別の写真を載せることで、ポイ捨てが減り分別がわかりやすくなる。また、外国人のマナーもよくなる。</p>	環境局	
10	<p><u>アルバイトの時給を見直す。</u> ⇒在住外国人のアルバイトの給料を上げることで働き甲斐を感じ仕事を積極的にする人が増えると思う。</p>	産業局	
11	<p><u>ごみのマナーを外国人に伝えるようなポスターやリーフレット等を作成する。</u> ⇒外国人観光客に日本のマナーを伝えるためにポスター、リーフレット、ステッカーを多国語でつくるのが良いと思う。リーフレットを作れば鹿児島の自然の美しさが世界に伝えられ、いつの時代にも自然が残ると思う。リーフレットはダメだという意味で「YASSEN」にしてはどうか。</p>	環境局	